

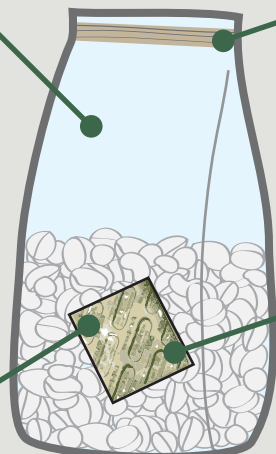
脱酸素状態にするための4つの条件

1 ガスバリア性の高い包材を用意する

容器内を一定期間脱酸素状態に保つため、酸素が透過しにくい包装材料を選びます。当社で「E-シールド」マークがある袋は、ガスバリア性が高い袋ですので、問題なくお使いいただけます。

2 商品の性状・包装容器の容量に適したエージレスを選ぶ

必要な期間中、容器の中が脱酸素状態になるよう、商品の性状と包装形態に適したタイプ・容器内の酸素量に相当するサイズを選びます。



3 シール機で完全に密封する

完全に密封でないと脱酸素状態にはなりません。包材に合わせた適切なヒートシール機などを使って容器を完全に密封してください。

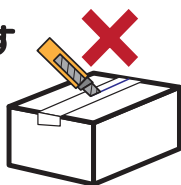
4 適正なエージレスの取り扱いを行う

誤った使い方はエージレスの失効などの原因になります。開封・使用・保管は速やかかつ適切に行なってください。直射日光を避けて常温（ただし、夏場でも30℃以下）で保管してください。Eシリーズのエージレスの保証期間は出荷後6ヶ月です。ただし、ケース販売時で、15℃以下の低温保管の場合は出荷後1年です。開封後は保障の対象にはなりません。

エージレスの使い方

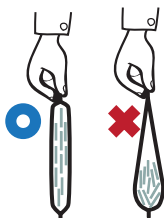
1. 段ボールから外装袋を取り出す

段ボールをあける際、刃物を使わないでください。（刃物で袋を傷つける恐れがあります）



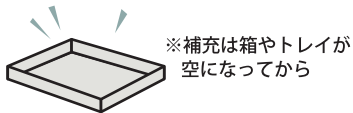
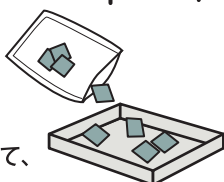
2. 外装袋の外観をチェックする

脱気包装されていますので、脱気状態をチェックします。外装袋の端をつまんで下げ、中身がずり落ちないことを確認してください。



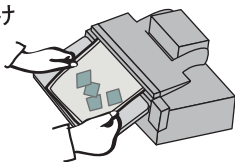
3. 開封する

開封したら、必要量を箱やトレイに取り出して、エージレスが重ならないように広げて使います。



4. 残った分は先に空気を除きながらシールする

装填作業前に、外装袋に残ったエージレスをまずシールします。この時、包装内の空気を出来るだけ追い出してシールしてください。

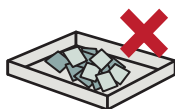


よくあるご質問

参考・抜粋：三菱ガス化学ホームページ [エージレス Q&A] (2017/02/22)

- Q** エージレスは冷凍状態でも使えますか？
A -25℃以上の冷凍温度の場合、使用は可能です。ただし、酸素吸収速度が極端に遅くなります。冷凍下では酸素吸収速度が遅くなりますが、室温に戻すと本来の速度に戻ります。
- Q** 真空包装との併用はできますか？
A 緩い脱気状態の場合は併用できます。しかし、強い真空状態にすると、エージレスが商品と包装フィルムの間にはりついて酸素吸収ができにくくなりますので、包装容器内で空気が流通する程度の緩い脱気状態で止めて下さい。
- Q** 少量ずつエージレスを使うのですが、外装袋を何回も開閉しても大丈夫？
A エージレスが何回も空気に触れることになり好ましくありません。このような場合は、あらかじめガスバリア性の高い袋にエージレスを小分けしておきます。そうすればエージレスが空気に触れる回数を減らすことができます。
- Q** 季節性のある商品にエージレスを使用していますが、使い残したエージレスは来シーズンも使えますか？
A エージレスの保証期間は出荷後6ヶ月です（一部製品を除きます）。15℃以下の低温保管では1年となります。したがって、来年まで持ち越し可能性がある場合は、ご購入後15℃以下の冷蔵庫に保管するようにして下さい。ただし、これは未開封の場合に限ります。開封している場合はできるだけ早くお使いください。
- Q** 包装作業中にエージレスが熱くなることがありますが大丈夫でしょうか？
A 自力反応型のエージレスで外装袋を開けたまま放置したり、バラ品を外装袋から1個ずつ取り出して使っていると、エージレスの反応熱が外装袋内にこもって熱くなります。性能が低下しますので、必ずトレイなどに移して広げてお使い下さい。連包品の場合は、使用中に熱くなることがありますが、所定の作業時間以内に使っていただければ大丈夫です。

▲ NOCTICE



山のように重ねておくと、エージレスが発熱し、早く性能が低下しますので、おやめください。



外装袋から1個ずつ取り出して使うと袋の中のエージレスが発熱し、性能が早く低下します。